

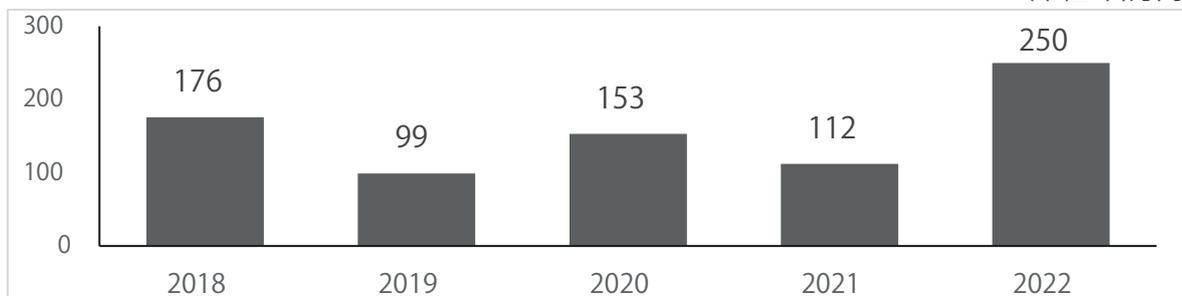
## 金沢大学基金の実績報告

日頃より、金沢大学基金に多大なるご支援を頂きありがとうございます。  
多くの皆様からご支援を賜り、学生の生活支援、留学支援、課外活動支援など、多岐にわたる事業に充当させて頂きました。

2022年度は、個人654名、86法人・団体より、総額約2億5千万円のご寄附を頂きました

## ◆2018-2022年度 基金収入状況比較

(単位:百万円)



## 基金を活用した学生支援事業

緊急学生支援金事業(新型コロナウイルス感染症対策) のべ493名 2,465万円  
新型コロナウイルス感染症拡大により、家計急変等で経済的に困窮する学生を支援(月額5万円)しました。

学生の国際交流事業 のべ235名 1,606万円  
日本人学生の海外派遣及び外国人留学生の受入に係る給付型奨学金を支援しました。

新学術創成研究科学生奨学金 17名 1,075万円  
新学術創成研究科の博士後期課程進学確約者、博士後期課程からの入学者に給付型奨学金を支援しました。

学生の修学環境整備事業 200万円  
課外活動用パネルスクリーン、融合学域の学生用スペースの什器等を整備しました。

## トピックス

## 新たに基金・学友支援室が設置されました

2023年4月、これまで金沢大学基金の窓口であった基金室、各同窓会の窓口であった学友支援室を統合し、新たに「基金・学友支援室」を設置しました。

「基金・学友支援室」には、新たにファンドレイジングに関する有資格者(金沢大学卒業者)を室長に配置しました。これまで毎月発行していた「基金ニュース」、不定期に発行していた「学友支援ニュースレター」を統合し、「金沢大学基金・学友支援ニュース」(四半期毎発行)とします。



## 本学卒業生がローイング(ボート競技)の日本代表に初選出!

2021年度に本学学校教育学類を卒業した柿島麗さんがローイング(ボート競技)の日本代表選手として内定しました。柿島選手の日本代表選出は今回が初となります。柿島選手は、金沢大学在学中、ボート部に所属し、2021年全日本選手権兼全日本大学選手権(インカレ)で、女子ダブルスカルで優勝するなど、多くの大会で優秀な成績を収めていました。本学を卒業後、戸田中央総合病院ローイングクラブで競技を続け、3月に開催された日本代表選考会にて、女子軽量級スカル種目で第2位となり、日本代表に選出されました。今後は2024年パリオリンピックの代表枠の予選会である9月の世界選手権に向けて活動していくことになります。



### 柿島選手のコメント:

「日本代表として世界と戦う」ことができるのがとても楽しみです。今シーズンは私自身にとって初めての海外遠征、海外レースが控えています。正直不安な気持ちがとても大きいですが、このビッグチャレンジを楽しみ、自分の成長に繋がれるよう前向きに頑張ってきます。学生時代、卒業後も競技を続けるか悩んでいた際に背中を押してくれた教授やチームメイトに感謝し、精一杯挑戦してきます! 応援よろしくお願いたします!

柿島選手が所属していたボート部を始めとする、金沢大学の課外活動団体を応援する「課外活動振興基金」へのご寄附はこちらから!!



## 留学支援奨学金のご支援ありがとうございました!

みやけ はるな  
三宅 陽菜 さん

人間社会学域国際学類 4年  
留 学 先 : シーナカリンウィロート大学(タイ・バンコク)  
留学期間: 2022年8月8日~2023年5月19日

私はタイのシーナカリンウィロート大学に留学しました。タイでの生活は、言葉や文化などの違いから、大変なこともありましたが、多くの人に助けて頂きながら、本当に様々な経験をすることができました。大学では、グループワークが多く、タイ人の学生と、課題をこなしていく中で、英語力の向上だけでなく、内向的であった私が、留学後期からは、積極的に自分からコミュニケーションをとれるようになり、自身の成長を感じることができました。もし、ご支援がなければ、このような充実した留学生活を送ることができなかったと思います。この度は、ご支援を頂き、誠にありがとうございました。

### シーナカリンウィロート大学とは?

1949年創立 タイ・バンコクに所在する国立大学  
学生数 25,345人 教員・研究者数 2,448人  
2011年7月 金沢大学との大学間交流協定締結



キャンパスでタイの友人と(三宅さん・中央)

学生の海外留学へのチャレンジ、大学のグローバル化をを応援する「金沢大学基金」へのご寄附はこちらから!!



## G7富山・金沢教育大臣会合のエクスカージョン(視察)を行いました

5月15日(月)、G7富山・金沢教育大臣会合のエクスカージョン(視察)が行われ、G7各国の大臣や国際機関の代表者の方々が本学を訪れました。

まず冒頭に和田学長によるウェルカムスピーチが行われ、中村研究担当理事、本学の研究者からの先端研究の成果や産学連携のプロジェクトの紹介を行った後、永岡文部科学大臣やG7各国・国際機関の代表者の方々が金沢大学生、G7各国等からの留学生や附属高校生ら40名と教育の未来をテーマにグループに分かれ対話を行いました。



各国大臣と本学学生たちによる集合写真

対話では活発な意見交換が行われ、まとめとして対話参加学生・生徒による「金沢大学ユース宣言」を発表しました。ユース宣言では、①インクルーシビティ(包括性)、②ダイバーシティ(多様性)、③エクイティ(公平性)、④モビリティ(移動性)が重要であることを述べ、世界の平和とWell-beingの実現に取り組んでいく旨を宣言しました。この日のためにそれぞれグループで議論を重ね準備した参加学生らにとって、各国大臣・代表者の方々と直接対話することができる貴重な機会となりました。



「金沢大学ユース宣言」を発表

## 融合学域観光デザイン学類 2024年度から入学定員35名増

2022年度に設置した融合学域観光デザイン学類について、「観光デザイン人材が活躍する“金沢モデル”」というコンセプトでの入学定員増の申請を行っていました。

6月12日、この申請について、文部科学省から採択を受け、2024年度からの入学定員増(35名)が認められました。データサイエンスを取り入れた文理融合の教育で観光の専門人材を育成していきます。

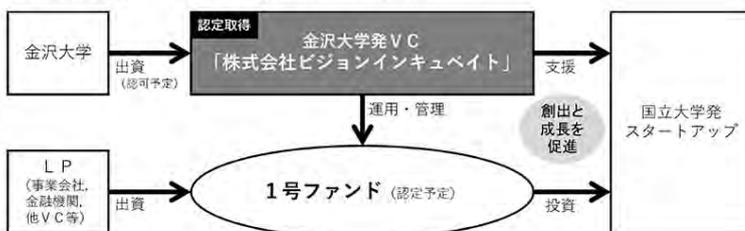


## 金沢大学発ベンチャーキャピタルの 認定を取得

2023年5月9日、金沢大学発ベンチャーキャピタル「株式会社ビジョンインキュベイト」を設立し、同社が産業競争力強化法に基づく特定研究成果活用支援事業計画を実施することについて、文部科学大臣および経済産業大臣から認定を受けました。

国立大学等による自己財源100%出資としては国内初となり、研究成果の社会実装をさらに推進していきます。

<金沢大学発ベンチャーキャピタルの概要図>



連絡先 金沢大学基金・学友支援室

〒920-1192 石川県金沢市角間町 本部棟5階

TEL 076-264-5075

E-Mail kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp (基金に関するお問い合わせ)

gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp (同窓会に関するお問い合わせ)

Webサイト <https://kikin.adm.kanazawa-u.ac.jp/kikin/>

